

## かわいい赤ちゃん誕生

子供が生まれました。女の子です。

7月3日午前2時48分生まれ

鄭芽甲【ジョン・アミョン】ちゃん



アップパ：鄭大督 オンマ：梁利奈

□ 読者皆さんに一言お願いします！  
『家族とともども奈良トンボ皆さん、今後とも末永くよろしくお祈りします！』

**結婚おめでとー!** このたびめでたく結婚される  
トムを心から祝福します!

新郎 妻常進トム(裴仁華 長男)  
新婦 金華進トム(金泰廣 長女)  
✪ 挙式は10月1日(土) 京都全日空ホテル

## ケシパン(掲示板)

- 8/ 5(土) 朝高生社会実践活動日
- 6(日) 朝高生社会実践活動日
- 8/ 7(日) **納涼フェスタ**  
(奈良ハッピーにて、PM5:30~)
- 8/28(日) 青商会・川遊び
- 9/11(日) 青商会・再起動総会
- 10/1(土) 結婚式
- 10/2(日) 東大阪朝鮮中級・運動会
- 10/9(日) 大阪朝鮮高級・運動会

編集・発行/奈良県同胞生活情報誌センター  
〒630-8131 奈良市大森町5-4番地  
TEL 0742(26)5139  
FAX 0742(26)5141  
メール nara.oi2011@gmail.com

**奈良トンボ情報誌『ならに』**

ご意見・ご感想お待ちしております。

## 引き続き救援募金にご協力を!

奈良トンボヨロブン(皆さん)!被災した同胞への募金活動はまだまだなっています。総連奈良県本部はより多くの同胞みなさんが意の長い支援を続けてくださいますよう尽力いたします。被災地の皆さんとともに頑張りますよ!!

東日本大震災被災者救援総連奈良県本部対策室

連絡先: 朝鮮総連奈良県本部 0742(26)5139

『ならに』はみなさまの支援のもと作成配布されています。

### 購読会員・賛助会員募集!

- ◇購読会員 (年間1口1千円から) ◇広告協力
- ◇賛助会員 (年間1口1万円から) ◇広告掲載金1万円

## 金剛保険(株)大阪支社

私たちは奈良県同胞情報誌『ならに』を応援します。

### 損害保険取引会社

東京海上日動、あいおいニッセイ同和  
損保ジャパン、三井住友海上、日本興亜損保  
ゼネラル、AIU、セコム損保

### 生命保険取引会社

大同生命、メットライフアリコ、オリックス生命

〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-1-2  
TEL06(6972)7371 FAX06(6972)7377  
<http://www.kongouhoken.co.jp>

### 編集後記

仲間が加わった。奈良トンボ情報誌『ならに』の創刊準備をあと3回目の作成になる。もう一人ではない。一人でないと、作業がどれだけ楽になったかことか...一人でないと、これは、またどれだけ期限厳守が厳しくなるか。ひとりなら誰も知れずには妥協ができる。個人の妥協はチームワークに害する。もうそのレベルでない。これはあきらかに前進?!



トンボの話題・役立つ情報あれこれ、心ふれあうウリトンネ(ご近所)をめざして!

2011. Vol. 2

## 《青商会再起動委員会》発足!

6月11日、『奈良県朝鮮青年商工会(以下略、県青商会)再起動委員会発足式』が行われ、県青商会を再起動させようとする30代を中心とした同僚青年有志が参加しました。発足式では「地域の同胞コミュニティの活性化をはかり、奈良県での民族教育と、それらを支える経済的な基盤を築くため、県青商会組織が必要である。」という認識で一致し、ここ数年活動を休止していた県青商会を『再起動』する契機として、来る9月11日に『再起動総会』の開催を決定しました。さらに発足式では再起動委員長に文春基さん、事務局長に李徳水さん、次長に李達生さんと高一柱さんを選出し参加者全員が再起動委員であることを了承しました。発足式で選出された文春基委員長をはじめ再起動委員全員が県青商会再起動への意気込みと自らの決意を述べました。とりわけ、青商会の活動を軌道に乗せるチャンスにしようという試みのもと今年の納涼大会を再起動委員会が主催するというので、今までに無い300人以上の集客目標を掲げ盛大に開催しようと合意しました。発足式は終始、和気あいあいな雰囲気の中で、中央や大阪、岐阜の青商会役員と「ともががんばろう」と手を取り合ったり、全員で肩を組み歌をうたうなど、奈良県青商会の復活に一丸となって立ち向かうとする再起動委員の熱い思いがみぎぎっていました。



「トンボが喜ぶ納涼大会がしたい」、「トンボが多く集う納涼大会で県青商会の『再起動』をアピールしたい」という再起動委員

## 再起動委員会・中央青商会総会に参加!

7月2日、岐阜県で行われた中央青商会総会にオブザーバーとして参加した奈良県青商会再起動委員会の代表メンバー。李徳水事務局長が奈良県での活動報告が終わるや否や会場から声援と大きな拍手がおこるのでした。翌日3日は「ウリ民族フォーラム2011(岐阜)」が開催されました。このフォーラムは年に一度、全国から集まる青商会員の「感動共有の場」であり、毎年「絶対に感動する」と評判のイベントです。今年のテーマは「中小地域で地域活性化の糸口を模索することについて」でしたが、この舞台で、いま地域同胞社会の活性化を足がかりに学校を拠点とした様々な活動を再起動させようとする奈良県青商会再起動委員会を取材したDVDが上映され、奈良県での活動を大きくPRすることができました。その感動的なシーンに会場から盛大な拍手が沸き起こり、奈良県への熱い期待とエールが届けられました。2日間におよび中央青商会の総会と民族フォーラムに参加した李達生事務局長は「全国青商会の熱い期待を肌で感じ、青商会活動のレベルの高さに圧巻しました。この間、自分が奈良の広告塔として、時間があるかぎり再起動委員会の名刺を配りながら各地域の仲間と意見を交わし、来年も必ず会おうと約束しました。中央青商会総会の舞台にありながら全国の青商会の代表たち前で宣言し大きな拍手と激励を頂いた以上、8月の納涼大会、9月の再起動総会の重大性と責任の大きさを胸に実感し、必ず成功させると誓います。」と決意を新たにするのでした。



## 東大阪朝鮮初級学校運動会 開催

…奈良ウリトポ5家族25人参加…

### 歓声が青空にこだま

『東大阪朝鮮初級学校第58回運動会』が5月31日、火曜日に行われました。現在、奈良県のウリ児童、生徒たちは奈良のハッキョが休校している状況で東大阪初級学校に通っています。

台風2号の影響により延期された今年の運動会！ 平日にも関わらず運動会には、奈良県から参加した5家族25人を含め多くの学父母、同胞達で運動場は大変賑わいました。

運動会では、児童、生徒たちが赤組と青組に各々に分かれ白熱戦が繰り広げられ客席からは歓声と応援の声が上がりました。とくに、生徒たちの団結力が垣間見られた集団体操は、カッコ良かったです。



また運動会のクライマックスで恒例のアボジ対オモニの綱引きではハラボジとしてはじめて孫の運動会に参加した奈良県商工会、李達圭会長がアボジチームの先頭に立ち「ヨンチギ！ ヨンチャ！」、渾身の方で負けまいと頑張りました。しかしそこはハッキョを支えるオモニパワー炸裂！ アボジとオモニの互いの力が拮抗するデットヒートの末、2対1でオモニチームが勝利をおさめました。昼時間は、奈良県のウリ児童、生徒たちと同胞家族専用のスペースにみんなが集まり、各家庭から持ち寄った弁当を食べながら、歓談に花を咲かせました。

一日中大変賑わった運動会。奈良から東大阪に通わせる同胞家族にとっては一生懸命がんばるウリ児童、生徒たちの姿は多くの感動と力を与え民族教育の力を実感する場になりました。ご家族の皆さんは「生徒たちがしっかりと成長している」、「同胞の相互扶助の気持ちを実感し、特別に感慨深い運動会となった。」と話していました。やっぱりウリハッキョの運動会は最高です！



## 総聯奈良県本部執行委員会第22期3次会議

…半年間の活動総括と下半期事業を討議…

総聯奈良県本部執行委員会第22期第3回会議が7月17日、桜井駅前のまほろばセンター会議室で行われました。会議に総聯中央経済局の呉民局長が中央常任委員会を代表し参加しました。

会議は2部構成で行われ、第1部は総聯中央呉民局長を講師に共和国経済の展望と朝中経済関係の急進策、そして朝米関係と直近の朝鮮半島情勢について興味深いお話をお聞きしました。また東日本大震災が与える経営への影響と近畿圏経済の現状と展望、そして在日同胞と企業の動態データを中心に分析した商工連合調査分析に基づき、今後同胞に与える影響と展望について講演がありました。

第2部の総聯奈良県本部執行委員会第22期第3回会議では邵哲珍本部長が前回の執行委員以降、半年間の活動報告と今年の下半期の事業方針を提議しました。会議では各団体を代表し東京で行われた中央大会に参加した感想を高一柱朝青委員長、趙武鏞総聯北支部天理分会長、康映子女性同盟副委員長が報告しました。また青商会再起動委員会事務局を代表して李達生事務局次長が現在の活動についてDVD映像を交え報告しました。会議では総聯本部邵哲珍委員長の報告を会議の決定事項として採択しました。また30代男女5名を新たに委員として補選することが決定されました。閉会を前に挨拶した呉民局長は「今、中央機関と全国の組織が総聯奈良組織と同胞社会に注目している。青商会再起動を機会に奈良県全組織と同胞が来年2012年を歴史的な一年にするため引き続き邁進することを期待する」と激励しました。



## 奈良県傘下各団体代表、東京で中央ヨルソソンジャ大会

7月10日、東京朝鮮文化会館で「朝鮮総聯の新たな全盛期を開くための中央ヨルソソンジャ大会」が行われ、奈良県を代表し総聯本部邵哲珍委員長をはじめ県下各団体から選出された9人の代表が参加しました。「キムイルソン主席生誕100周年にあたる2012年を在日朝鮮人運動の新たな全盛期の跳躍台を築くことによって在日朝鮮人運動史に刻まれる歴史的な年として飾ろう」と開かれた大会には、総聯中央をはじめ全国各地から約1千人の活動家・熱誠者が参加しました。会場では、写真展示会が行われ全国各地域での活動の様子などの写真が展示されていました。

女性同盟を代表して参加した康映子本部副委員長は「原発被災地の福島ハッキョの先生が登場され、福島の学生をはじめ新潟のハッキョで合同授業を受けている報告を聞いて、割れんばかりの拍手と声援が送られ涙を流しながら激励する会場内の雰囲気にごみ上がる感動がありました。やっぱり総聯！ 大したものだ！ と確信を得ることができました。」と大会を振り返りました。

天理分会の趙武鏞分会長は、「多くの感動と希望を感じた一日でした。各地でそれぞれの実情に合わせて明確な目標をもって全身全霊で活躍する代表の姿に目頭が熱くなりました。アボジ、オモニらが苦勞して持ち上げた組織とハッキョを次世代にしっかり受け継がなくてはならないという強い思いを新たにしました。」と感想を述べました。



コグマ会・朝高生共催 **オリニ夏まつり開催**

7月31日、奈良ハッキョではオリニ（ちびっ子）夏まつり行われ、幼児から低学年のオリニとその家族で賑わいました。このオリニ夏まつりは奈良ハッキョ出身の大阪朝高生たちが夏休み期間に行う社会ボランティア活動の一環として提案され総聯、商工会、女性同盟、教育会、朝青、青商会再起動委員会の協力のもと開催されました。

朝高生たちは当日3日前から奈良ハッキョに集まり、かき氷、輪投げやヨーヨーすくいなどオリニたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら夏祭りの準備に取り組みました。また、オリニがよろこぶ行事と頼もしいスタッフの登場に、ただただうれしいばかりの「コグマ会」オモニたちは、この機会に新しい仲間と声をかけようと提案…すると朝高生たちが率先してオリニたちの家庭を訪ね、ご両親に直接会って参加を呼びかけました。

また、オリニたちのためならと、奈良市内のお子さんの送迎を自ら引き受けるなど、総連本部はじめ県下各団体がひとつになってこの日の夏まつりを盛り上げるためご尽力くださいました。

当日オリニたちは休む間もなく、プール遊びにストラックショット、ヨーヨーすくいにくじ引きなど楽しいことがいっぱいにつまったすべてのアトラクションに挑み、誇らしげに胸につけた「挑戦済証明シール」を一つ一つ貼ってもらいました。夕方になり、汗いっぱい遊んだオリニたちは朝高のお兄さんお姉さんと一緒にハッキョ前のスーパー銭湯へ！すっかりキレイになった後はおいしいカレーライスをお腹いっぱい食べました。なかには3杯もおかわりするオリニがたくさん！

夕食後はアッパ、オンマとスイカを食べて、最後はみんなで花火をして楽しい一日を飾りました。普段はあまりできないいろんな遊びをいっぱい満喫した一日！オリニたちにとってこの日は朝高のお兄さんお姉さんとずっと一緒に楽しんだ忘れられない思い出になりました！

★★ **通学サポートとキムチ販売活動** ★★

## 女性同盟奈良県本部

ご存知でしたか？

いま、週一回をめぐりに奈良から東大阪朝鮮初級学校に通う学生の電車通学支援に総聯、商工会、女性同盟が一丸となって取り組んでいることを。当初、学生たちの通学を心配する母親たちがわが子と非定期で通学に同行していたのですが、総聯奈良県本部では各家庭の負担を少しでも軽減させ、子どもたちが元気で安全に学校に通えるようにしようと傘下各団体と共に組織的に取り組むように呼びかけたところ、近鉄大阪線の大和八木駅から布施駅までの電車で50分の通学サポートをしているのです。この活動を続けることにより、ボランティアの輪が少しずつ広がっています。9月からは毎週二回に小学生の電車通学支援の回数を増やすことになりました。そこで、ここに参加する活動ボランティア、そして交通費などのかかる経費の賛助金協力などをお願いしています。情報誌『ならに』読者の皆さんからの参加・協力を心よりお待ちしております！

**通学サポートのサポート！**

今、女性同盟・コグマ会をはじめ、女性を中心に通学サポートのサポートとしてキムチをはじめ、朝鮮料理の食材・マッコリ・飲むお酢（紅酢）などの販売を行っております。今回、檀原市労協や奈良人権・部落解放研究所などのご協力を頂き、通学サポートに使う経費をキムチ販売の収益から負担することができました。ご協力ありがとうございました。引き続き、キムチをはじめとする朝鮮食品の販売を行います。納涼フェスタ「絆」の時には直売も行いますので、みなさんからのご協力をお待ちしております。

## トピックス

## 県青商会歴代役員会議

7月26日（火）奈良県青商会歴代役員経験者による会議が行われました。

この度、30代を中心に県青商会再起動委員会が発足し活動を繰り広げている中、彼らをサポートしようと、15年前の県青商会結成時の初代会長である李成圭氏による提案で、7月6日に歴代の会長・副会長らが集まり協議した結果、この会議が開かれたのでした。

青商会結成時から長らく幹事長を務めていた県商工会理事長金成男氏の司会のもとで会議は進行されました。

まず、県青商会再起動委員会文春基委員長が再起動総会に向けた活動の報告と当面8月7日に主催する納涼フェスタを成功させるための協力を要請しました。

そして、歴代役員経験者から再起動総会と納涼フェスタの開催について質疑応答が行われました。特に、納涼フェスタの入場券販売や賛助広告の募集の状況、そして売店の準備状況および当日来場者へのケアなど、具体的な質疑が行われました。そこで第2期会長韓亨吉氏から納涼フェスタを成功させるために歴代役員経験者全員が一致団結し、仕事仲間や同僚など幅広い方々に賛助広告をお願いすることで協力しようとの呼びかけがありました。30代の県青商会再起動委員会だけの力では到底解決できない課題を歴代役員経験者らが自らの課題として取り組む姿に再起動委員らは感謝の気持ちで胸がいっぱいになり目頭が熱くなっていました。

閉会の挨拶をした李成圭初代会長は「青商会の再起動により奈良ハッキョの未来と同胞社会の未来を変えることになる…とりあえず目前の納涼フェスタを成功させよう！再起動委員のみなさんは私たち先輩をうまく使い納涼フェスタや再起動総会を必ず成功させる意気込みでガンバってください！」と締めくくると、再起動委員からは「コマッサムニダ！」と感謝を表明し、より一層活動に励む決意を新たにしました。



7月23日（土）同胞建設業者交流祭2011 in ヒロシマー  
**“いまを切り開く同胞建設業者の連携と挑戦”**

在日本朝鮮商工連合同胞建設業者協議会主催

東日本大震災の復興事業が模索される中、同胞建設業者は、いま何を考え行動すべきかを考えようといわれた交流会に奈良県商工会李達圭会長が参加しました。1部のセミナーでは「日本の近代史と在日朝鮮人」というテーマで商工連の金明守副理事長を講師に日本の土木業を根底で支えてきた同胞建設業の歴史と誇りを胸に厳しい環境に打ち勝つべきと強調しました。

2部ではジャパンビジネスソリューション代表理事、森谷雅人が「時代を切り開くリーダーシップと企業間連携」という問題提起をしてグループ別にディスカッションを行った。この日、懇親会で参加者を前にスピーチした李達圭会長は会議の感想とともに震災復興事業の影響による様々な変化にポジティブに対応するご自身の抱負と地域社会での役割について述べられました。

